

【今日のもくひょう】 はるかぜにふかれたようすをかんがえて、音読しよう！		お休み中のかだい
こくご	5月11日(月) かだい	ふきのとう⑧
P20・21	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートはできるだけ 15 マスのノートをよういしましょう。なければ 1年生のつづきや白いかみでもいいです。 ・右と左どちらも あたらしいページをひらいて つかっていきましょう。 	
音読①	<ul style="list-style-type: none"> ●「ふきのとう」の7(P20 8ぎょう目~P21 6ぎょう目)を音読しよう。 ポイント!・・・はるかぜにふかれたようすを そうそうしながら 音読しよう。 	
めあて	はるかぜにふかれたようすをかんがえて、くふうして読もう。。	
	※あたらしいページに おはなしの名まえ「ふきのとう」・日づけ・めあてを書こう。	
かつどう	<ul style="list-style-type: none"> ●音読したところを 視写(ししゃ)しよう。 ➡<u>お手本の文しょうを 書きうつすこと。</u> ポイント!・・・①字はこく・はっきり・ていねいに 書く! ②マスからはみ出さないように書く! ③かたまりで おぼえて 書く! (れい)「わたしは犬がすきです。」をししゃするとき、 ×「わたし」「は」「犬」「が」「すきで」「す。」とうつす。 ◎「わたしは」「犬が」「すきです。」とうつす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">小さい字や てんや まるの書きかた</div> <p>※ポイント!をがんばって ししゃすると・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ことばを たくさん おぼえられる! ②しゅう中力がつく! ③早く・正しく 文を書けるようになる! <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;"> 小さい や・ゆ・よ もここに 入るよ </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">っ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ん</div> </div> <div style="display: flex; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ん</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ん</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">ま</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">た。</div> </div> </div>	
かんがえる①	<ul style="list-style-type: none"> ●はるかぜがふくまで、竹やぶ・雪・ふきのとうは どんな気持ちですごしていたか 思い出そう! (ノート) ポイント!・・・きょうか書やこれまで学しゅうしたノートを もういちど かくにんしてみよう。 	

<p>かんがえる②</p>	<p>●はるかぜがふいて、竹やぶ・雪・ふきのとうは どんな気持ちになったと思いますか？ (ノート)</p> <p>ポイント!・・・「そとが見たい。」「ゆれておどりたい。」「水になってあそびたい。」 とっていたことを はるかぜがふいて ようやくできたんだね。</p>
<p>チャレンジ!</p>	<p>●「ゆれる ゆれる、おどる。」「とける とける、水になる。」「ふんばる、せがのびる。」 のところは、リズムをかんじながら読むところです。リズムをかんじながら、読んでみま しょう。</p> <p>ポイント!・・・ことばが すべて「る」でおわっている。 ポイント!・・・おなじことばを くりかえしている。</p>
<p>音読②</p>	<p>●学しゅうしたことをいかして 音読しよう。</p> <p>ポイント!・・・はるかぜにふかれた 竹やぶ・雪・ふきのとうの気持ちを 思い出しながら 読みましょう。</p>

5 11 月

は	は	ふとゆ
うる	ざる	んけれ
れか	んか	もばてて
しぜ	ねぜ	っっ、
いが	んが	こて
気ふ	なふ	り、
もい	気く	。
ちた	もま	
あ	ちえ	
と		

5 11 月

ふせ	ふ雪竹は	④ふ
かが	きがやる	んはき
れの	の、ぶか	がるの
てび	ととがぜ	えかと
、る	うけ、に	てせう
	。がるゆふ	、に
	、とれか	くふ
	ふけるれ	ふか
	んるゆて	うれ
	ば、れ、	した
	る水る	てよ
	、に、	読う
	なお	もす
	るど	うを
	。る。	。か